

策定した経営戦略を着実に実行し、成果を確認しながら改善を進めていくために、施策ごとの具体的な行動計画を「アクションプラン」としてまとめています。この章では、アクションプランをどのように進め、成果を確認していくかを示します。

1. 指標管理

各施策のアクションプランの取組状況を評価するため、指標による管理を行います。指標ごとにレベルを重要度1～重要度4に区分し、重要度ごとに管理手法を設定します。

重点施策として位置づけた施策の指標は重要度1（KPI（アウトカム））を設定します。

指標重要度	指標の扱い	管理手法
重要度 1	KPI(アウトカム)を設定	・重点施策管理シートにて管理
重要度 2	管理指標(アウトプット)を設定	・重点施策は重点施策管理シートで管理 ・それ以外は、施策管理シートで管理
重要度 3	結果のみ推移を追う	・将来の数値目標は設定しない ・毎年算出する業務指標(PI)にてその年の結果を記載し、推移を監視(異常な数値を示した場合には、対応策を講ずる)
重要度 4	取組の方向性を設定	・取組内容はアクションプランに記述する 例)今後も引き続き〇〇事業を行っていきます。

高
重要度

2. 重点施策

本ビジョンで掲げた施策のうち、特に事業運営において重要性が高く、計画期間を通じて重点的に取り組む施策を「重点施策」として位置づけています。

はじめに、主な重点施策の事業計画（スケジュール）を示します。

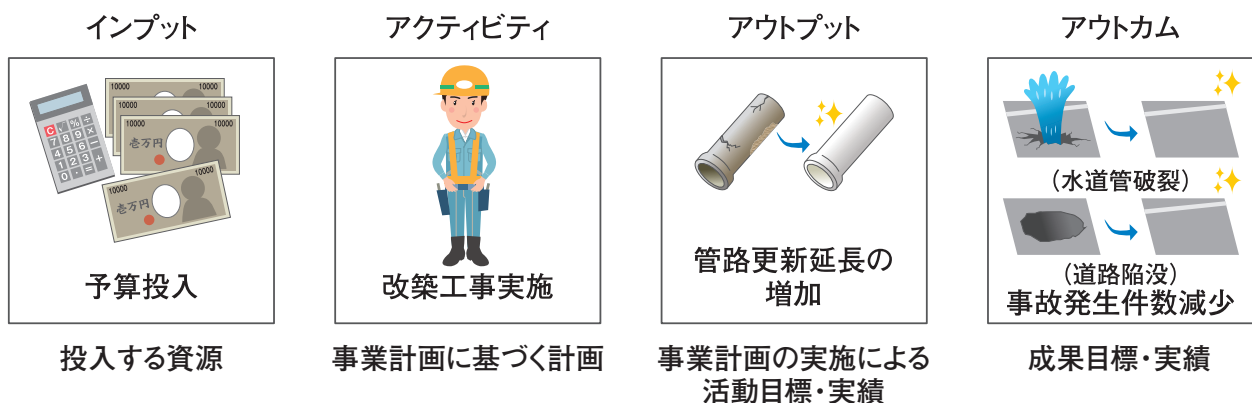
続いて、それぞれの重点施策の取組内容を紹介します。

主な重点施策		年度		前期					後期				
		R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17		
上下水道ビジョン		計画期間 (計画見直し)											
水道	老朽化対策・耐震化対策	管路	①基幹管路の更新・耐震化(令和9年度よりウォーターPPPIによりさらに推進)、老朽管の更新・耐震化 ③漏水調査の実施とそれに基づく修繕の実施(令和9年度よりウォーターPPPIにて実施)										
		施設・設備	②水源地等の老朽設備の補修・更新・耐震化										
下水道	老朽化対策	管さよ	①管さよの修繕・改築、維持管理(令和9年度よりウォーターPPPIにて実施)										
		施設・設備	①施設の修繕・改築、維持管理(令和9年度よりウォーターPPPIにて実施)										
	耐震化対策	管さよ	①重要な幹線等の耐震化										
		施設・設備	②篠籠田貯留場・柏ビレジ排水ポンプ場の耐震診断・建て替えの実施										
雨水(浸水)対策		浸水対策の継続(令和8年度に雨水管理総合計画を策定し、より効果的に浸水対策を実施)											

※ウォーターPPPIはR10.1.20～R20.1.19の事業期間で実施予定

取組内容の説明に用いる名称の定義は次のように決めました。

名称	定義
インプット	投入する資源(事業実施に必要な予算等)
アクティビティ	事業計画に基づく活動(事業の実施内容等)
アウトプット	事業計画の実施による活動目標・実績 (事業実施により直接産出される実績)
アウトカム	成果目標・実績(事業実施により期待される変化)







老朽化対策
管きよの修繕・改策・維持管理

ウォーター
PPP

老朽化対策
施設の修繕・維持管理

ウォーター
PPP(一部)

施策の凡例

- 水道
- 下水道
- 上下水道

耐震化対策
重要な幹線の耐震化

耐震化対策
篠籠田貯留場・柏ビレジ排水ポンプ場の耐震診断及び建て替えの実施

経営基盤の強化
経営基盤の強化

雨水(浸水)対策
浸水対策の継続

水道管

下水道
汚水管

雨水管

【水道】 強靱化：老朽化対策		担当課 水道工務課										
現状	✓ 数値目標に基づく管理による管路更新を進めている											
課題	✓ 管路の老朽化に関する比率は増加傾向 ✓ 管路更新を加速しない場合、事故等が発生するリスクが高まる											
実績 R6												
管路更新延長	8.3km ※単年度値											
基幹管路の事故割合	0.0件/100km											
管路の事故割合	0.6件/100km											
非鉄製管路の事故割合	4.9件/100km											
目標	管路を健全に保ち、断水を防ぐことで安定した水道供給を確保											
① インプット <ul style="list-style-type: none"> ・重要給水施設管路 前期:31億円 後期:46億円 ・その他管路 前期:47億円 後期:32億円 ・基幹管路 前期:16億円 後期:20億円 ・漏水調査 前期・後期:5億円 ② アクティビティ <ul style="list-style-type: none"> ・基幹管路の更新【ウォーターPPPIによりさらに推進】 ・老朽管更新 ・漏水調査の実施 ③ アウトプット(前期→後期) <table border="1"> <tr> <td>管路更新延長</td> <td>45.4→83.5km※</td> </tr> <tr> <td colspan="2">※前期は5年間合計、後期は10年間合計</td> </tr> </table> ④ アウトカム(前期→後期) <table border="1"> <tr> <td>基幹管路の事故割合</td> <td>0.0→0.0件/100km</td> </tr> <tr> <td>管路の事故割合</td> <td>0.6→0.6件以下/100km</td> </tr> <tr> <td>非鉄製管路の事故割合</td> <td>3.9→3.9件以下/100km</td> </tr> </table>			管路更新延長	45.4→83.5km※	※前期は5年間合計、後期は10年間合計		基幹管路の事故割合	0.0→0.0件/100km	管路の事故割合	0.6→0.6件以下/100km	非鉄製管路の事故割合	3.9→3.9件以下/100km
管路更新延長	45.4→83.5km※											
※前期は5年間合計、後期は10年間合計												
基幹管路の事故割合	0.0→0.0件/100km											
管路の事故割合	0.6→0.6件以下/100km											
非鉄製管路の事故割合	3.9→3.9件以下/100km											
測定指標												
○管路更新延長(km)	○管路の事故割合(件/100km) = (管路の事故件数 / 管路延長) × 100											
○基幹管路の事故割合(件/100km) = (基幹管路の事故件数 / 基幹管路延長) × 100	○非鉄製管路の事故割合(件/100km) = (非鉄製管路の事故件数 / 非鉄製管路延長) × 100											



配水管改良工事の様子

【下水道】 強靱化：老朽化対策 担当課
下水道工務課

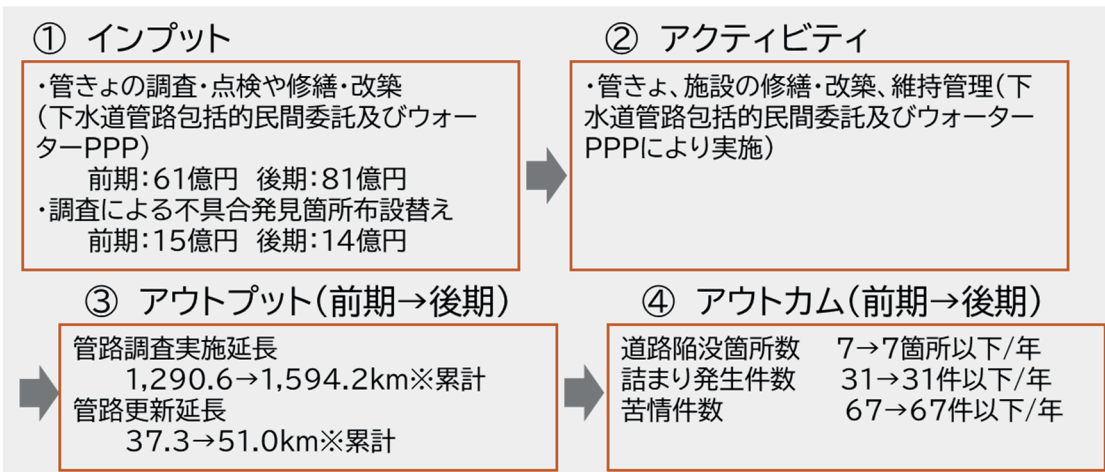
現状 ✓ 管さよは予防保全型の維持管理を包括的民間委託で実施

課題 ✓ 管さよの更新需要の増大が見込まれる
✓ 施設の老朽化が問題となっており、ストックマネジメントの策定が必要

実績 R6

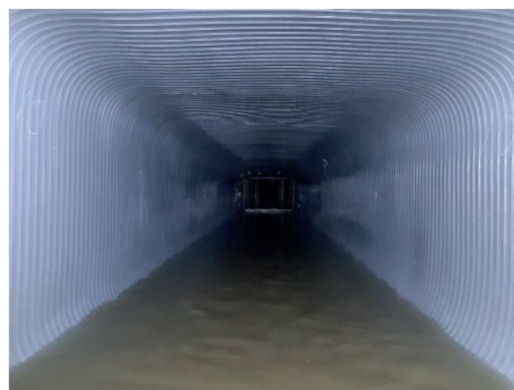
管路調査実施延長	1,098.6km※累計
管路更新延長	5.5km※累計
道路陥没箇所数	11箇所/年
詰まり発生件数	34件/年
苦情件数	46件/年

目標 施設・管路を健全に保ち、下水道事業の持続性を確保



測定指標

○管路調査実施延長 (km)	○道路陥没箇所数 (箇所/年)
○管路更新延長 (km)	○詰まり発生件数 (件/年)
	○苦情件数 (件/年)



更生工法による改築工事（工事前後）